

どうすれば避難所の環境を改善できるのか？

3年3組16番 辰巳亮太

Keyword: 災害関連死 避難所 情報掲載 身近

1. はじめに

私は、どんな探究をしようか考えていた際に、災害関連死について目が止まった。災害関連死とは、避難後の環境が悪く、避難できたものの死に至ってしまうことだ。特に熊本地震の死者数のうち災害関連死の割合は、8割を超える。私は、災害関連死について、避難できた命なのだからまだ手は施せるのではと考えた。さらに、南海トラフ地震が起ると言われており、私自身も関西に住んでおり、人ごとではないと考えたため、避難所に関する探究をすることにした。

2. 序論

病は気からという言葉がある通り、精神的な面をケアする事で、鬱などの精神的な病を予防出来るのではないかと思い探究を始めた。しかし、探求を進めていくと避難所では物資、人員ともに限られ、コロナウイルス流行後から感染予防の面で、身の回りで安全が確保できるのであれば避難所に避難しないほうが良いことになっており、あまり効果が期待出来ないことが判明し、他にも環境を変えることができないか考えた。そんな中、阪神淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震の避難所を見比べるとあまり大きく環境が変わっていないことに気づいた。このことから、避難所の環境を大きく変えるには、現実的に難しく、個人単位では変えることはできないと考えた。そのため身近なものに注目して、何かいい案はないかと考える事にした。

3. 本論

ポスターやインターネットを活用して情報を掲載することを考えたものの、ポスターはすでにたくさん災害関係のものが貼ってあることは明白であり、インターネットを活用することも既に同じようなサイトがいくつもあり、フェイクニュースなども存在するため、インターネットを活用することは、これ以上は難しいと考えた。そこで、何度も目に入る保存水のペットボトルのラベルに、避難所で役に立つ情報を載せるという、小さなことではあるが生活が少し改善できるのではないかと考えた。特に、ペットボトルの保存水は、用意しておく数が多く様々なバリエーションの情報を掲載できる点、被災時に何か準備をする必要がない点が優れていると考えた。探究を進めるべく、どのような情報が効果的であるか、専門家の元へ問い合わせることにした。危機管理教育研究所に問い合わせたところ「避難所では口腔ケアが怠りやすく、中には、口周りの菌が全身に周り死に至ることもある」と返事をいただき口腔ケアについて掲載する事が、被災時において最も効果的であると考え、口腔ケアについて掲載することにした。しかし、飲料水や避難グッズのメーカーに問い合わせたものの、返信が返ってこずに計画が頓挫してしまった。



イメージ図

4. 結論

結論として、避難時に使用する物資に情報を掲載すること自体は、効果があり避難生活の環境を少しでも改善できると考えられる。しかし、今回ペットボトルラベルについて探究したところ、ラベ

ルを変更するために費用がかかるが、費用対効果が薄いことや、ブランドとしてデザインが描かれてあること、そもそも、費用削減のためラベルが極端に小さい等、ペットボトルラベルに掲載するということは難しいと考えた。

5. おわりに

結果的には探究を完遂できずに終わった形になったが、情報を掲載するという点はペットボトルラベルに限らず、他の身近なものでも実現できるのではないかと考えた。特に被災時は普段使わない物を多く使用するためペットボトルラベルのほかに情報を掲載することができると考える。また、大きな問題を身近なことから考えて、問題解決に挑む姿勢の重要性について学んだ。

6. 参考文献・出典

(1)熊本県危機管理防災課.平成28年熊本地震に関する被害状況について.

<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/277850.pdf> .2025年4月11日